

第51回交流フロア運営会議（議事概要）

1 日時・場所

平成28年2月3日（水）18:30～20:00

伊丹市立図書館ことば蔵 1階交流フロア

2 参加者数 15人

3 会議内容

(1) ことば文化都市伊丹10周年記念事業「カエボンスタンプラリー」

内 容

スタンプカード・チラシ・エコバッグのデザイン案発表

意 見

- ・イベントの日に行かないとスタンプがもらえないと誤解されそう。
→カードからイベント情報を外してチラシに書く？
キャンペーン期間をもっと強調してはどうか。
- ・「数量限定」を「先着200個」にしてはどうか。
- ・チラシの「ことば蔵」の下に「図書館本館」と入れなくていいか。（北・南分館と同様）

(2) 市民企画「同人誌を作ろう」

内 容

自作の短編小説、詩、歌詞などを持ち寄って朗読し、より良くするために話し合う。
その後参加者全員の作品をまとめて1冊の本にする。それを図書館に置いてもらう。
将来的には部活動を開いて製本して、出版したい。（製本費用は参加者で持ち寄る）
はじめは5、6人規模でスタートしたい。作品をモニターに映してみんなが見れるように。

意 見

- ・1日で朗読・修正・編集をしようとしたら、ただの寄せ集めになってしまうのでは。
- ・半年などと期間を決めて、伊丹公論のように仕上げた方がいいのでは。
- ・ことば蔵でやる意味のあるコンセプトにしないと、他の文芸クラブでやるのと差がつかず、人が集まらない。
- ・「伊丹」などテーマを設定した方がよい。
- ・ハードルを下げるため参加無料にしたいが、ZINE（実費500円）との兼ね合いも。
→参加者は本を持って帰れず、図書館に置くのみにする？

今 後

文芸クラブ等ではなくことば蔵で作りたいたいと思わせるコンセプトを考える。

ブックフェスタで告知し、参加者を募集する。

(3) アイホールがつくる「伊丹の物語」プロジェクト

内 容

1年目となる今年度は71点の写真の応募があった。

3月にことば蔵で写真の展示を開催し、公開茶話会を行う。交流フロア運営会議のようにベンチを円形にし、モニターで応募写真をスライドで流しながら当時の話で盛り上がれたら。

意 見

・チラシでは情報量が多くて公開茶話会が目立たないので、茶話会単体でチラシを作っては、

(4) コトバーシティ英語読解講座

内 容

百人一首を手本にした「百冊一文」を受講生と一緒に作りたい。

辞典・英語関連の書物から、ためになるような一文を選んで投稿してもらい、それをファイル化したい。

(5) 話題の本で話そう「ルワンダの祈り」

内 容

現在日本では、「今、幸せですか？」と訊かれてYESと答える人が、女性で5割、男性で4割程度と言われている。後藤健二さんの「ルワンダの祈り」という本を通して、みんなが幸せに暮らせる社会を一緒に考えたい。

意 見

・チラシに書籍情報（出版年）を入れたほうが良い。

(6) イベント企画（構想段階）

内 容

自分の願望をまず先に決めて、それに向かって行動（願望を実現するための費用を稼ぐ、など）していけるよう、その「願望」を探っていくイベントをしたい。

過去にやった例としては、「今年の漢字」を年末ではなく年の初めに決めてしまい、発表する。

それを実現するために行動しよう、というイベントをおこなった。

→3月の交流フロア運営会議でやってみる

4 次回の運営会議

平成28年3月2日（水）18：30～

伊丹市立図書館ことば蔵 1階交流フロア